



謹んで新年のお祝辞を申し上げます

会員の皆さまにおかれましてはご家族様共々、お健やかに令和三年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は誰もが予測すらでなかった「新型コロナウイルス感染症」をいかに避けるかに終始した一年でした。そのため私たちのガイド活動は、三月から九月の七か月の長きに亘り休止を余儀なくされました。

十月からの活動再開に向け、三密回避対策として、新たに導入した「イヤホンガイドシステム」は、お客様からはコロナに対する安心感のみならず「聞きやすく、よくわかる」、私たちガイドは「大きな声を出さなくてよい」と好評です。一方、安全・安心のための消毒と密封作業は、時間的制約もあり皆様にご負担をおかけしますが、引き続きご協力をお願いします。

このところの特徴として神照小学校校外学習のお手伝い（ガイド）をはじめ、びわ中学

NPO 法人
長浜観光ボランティア
ガイド協会
〒526-0059
長浜市元浜町 14-12
湖北観光情報センター
電話 0749-65-0370
発行責任者・馬場智章



理事長 馬場智章

凧の湖会のおもい

1. 真心を込めたおもてなしの心で、お客さまをあたたくお迎えします。
2. 地域の歴史や文化、豊かな自然を温かい人情とともにお客さまにお伝えします。
3. 常に幅広い知識を身につけ、魅力ある文化観光都市長浜の発展につくします。

校生徒の竹生島研修、某校PTAや某市自治会の街づくり研修、シニア団体の歴史研修、一月には山口県立高校修学旅行が予定されており、「物見遊山」でなく「研修・学習」のための案内が増えています。

お客様から送られて来た研修報告に「三十六年間の歴史と年間一万人超の案内実績を誇るガイド協会。段取りよく、戦国の歴史、人物の相関関係、地域経済や信仰等について深い知識とはつきりした口調での案内に感動した」と評価されていました。

お客様の来訪目的に沿ったご案内が何よりの「おもてなし」ではないでしょうか。そのためには常に幅広い知識の修得に努め、更に高い評価が得られるガイド協会をめざし、着実な前進の年となることを念じております。年頭に際し皆様方とご家族御一同様のご健勝を、ご祈念申し上げます。

皆様のご活躍を期待しています



公益社団法人 長浜観光協会
会長 岸本 一郎

いつもお世話になり、誠にありがとうございます。日々の駅案内所での業務や市内でのガイド活動等、皆様の活動には、観光協会職員一同、心より感謝しております。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、長浜市の観光は大打撃を受け、黒壁スクエアをはじめとする観光スポットが閑散とした時期もありました。しかし、Gotoトラベル等の消費喚起事業により、長浜市も徐々に活気を取り戻しつつあります。そういった状況のなか、長浜市を選んでお越しいただいた方々に、「また来たい」と思っていたためには、長浜の魅力を直接、お客様にお伝えすることが大切だと考えます。そして、そのためには、皆様の力が必要不可欠だと考えています。

令和三年も皆様のご活躍を期待しております。新型コロナウイルス感染症の収束は見通せませんが、くれぐれもご自愛いただき、活動にご尽力ください。当協会としても、長浜盆梅展は感染対策を十分に講じたうえで、お客様をお迎えする予定です。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。



三つの活動目標を かかげたい



副理事長 木村富久子

明けましておめでとうございます。

寒さもいちだんと厳しくなりましたが、皆様にはお健やかに過ごしてのことと思います。

日ごろはお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、令和三年の当協会の課題ですが、

① 会員増強（新入会員募集）

昨年は、総務部の皆さまの尽力により、新たに五名の方をお迎え出来、ありがとうございます。一方、会員の高齢化も進み、世代交代の時期でもありますので今年も、新入会員募集を皆様と共に努力していきたいと思っております。

② 令和元年・二年度新入会員の早期戦力化

私の経験では、まず一歩踏み出すのは、すごく勇気が必要ですが、踏み出してしまえば、もう大丈夫です。ガイドが楽しくなります。そして、自分自身でガイド能力を磨きま

しょう。

そのためには、ガイド資料の収集（ガイドコースごとにまとめる）等いろいろな引出しを持っていくことが、自信に繋がり、「ガイドをもっとやりたい。」という気持ちになります。

これが、早期戦力化になると思います。

③ 個人別ガイド可能分野の拡充

いろいろな、ガイドコースを挑戦することによって、日本国中の人々と出会い、また違った世界が広がると思っています。バスで観音様巡りガイド・朽木街道から観音寺へ横山ハイク等、湖北の自然、文化、歴史を楽しみながらガイドし、ガイドの幅を広げる。

今年は、盆梅ガイドもなく、寂しい新年となりました。私たちも、コロナと共存する生活にも少しばかり慣れもできましたが、寒くなるこれからはインフルエンザの季節でもありますから、今一度気を引き締めていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

長浜市功績者表彰受賞者のことば

これからは恩返しのもりで

藤居きよこ

昨年中はコロナという思いもよらぬ出来事のため、十分なガイド活動が出来ないなか、十一月三日の令和二年度長浜市功績者表彰に私のような者をご推挙いただき、身にあまる光栄であるとお恥ずかしいかぎりです。慶びであることは十分に自覚しておりますが、気恥ずかしい気持ちもいっぱいです。

振り返ってみますと、平成十七年に仕事を退職したのと同時に研修を半年受け、入会させていただいたと記憶しております。歴史にあまり詳しくない私ですが先輩たちのご指導を頂き、無我夢中で活動してきました。私はいつも皆さんの温かさに包まれて今日までやってこられたと思っております。それゆえに今回の受賞は私個人がいただいたものではなく、皆さんとともに歩んできたからこそ受賞できたものと感謝している次第です。

この受賞を機会に少しでも恩返しのできる気持ちで活動させて頂こうと思っておりますので、今後ともよろしく願います。言葉足らずではございますが受賞にあたってのお礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

わたしの長浜盆梅展ガイド

安藤忠雄

第70回長浜盆梅展
会場／慶雲館
期間／1月9日から
3月10日まで

長浜の盆梅展は、大きな梅の古木を慶雲館という純和風のお座敷で優雅に展示する。以下ガイドのポイント。

盆梅生みの親高山七蔵の盆梅への思い。

慶雲館建築のいきさつ、浅見又蔵の足跡。

京都の植治こと七代目小川治兵衛作庭の回遊式庭園。庭に降りられる。

瀬戸内寂聴を始め著名人の詠んだ詩の掛け軸。

従来は公募による盆梅の命名が、近年はゆかりの人が命名。

推定伝四百年「不老」。

三百鉢の大小の鉢を期間中入れ替え。常時九十鉢を展示。

鉢を含め二千本の梅の木を専属の管理人二名が年間を通して世話。およそ三年に一度鉢から出して植替え。樹勢が弱くなれば地面に戻す。万が一伝染病などが発生しても盆梅展に影響しないよう四か所に分散して基本は屋外で鉢で管理。

寄贈を受けた梅の成木が盆梅にデビューするのに十年以上を要す。

水やりは通常は朝方に実施。夏場は朝と昼の二回実施。

一般に紅梅より白梅のほうが強い香りがする。一重咲きは花びら五枚、八重咲きは五の倍数で増える。

「輪違い」一本の木に紅白両方が咲く。

水盤に映る逆さ盆梅が人気がある。

新館の展示のプロデュースを京都造形芸術大学が担当。

夜間盆梅の時は庭がライトアップされ、二階よりの眺望は格別。

旧長浜駅舎、曳山博物館、黒壁スクエア、ガラスと古い街並みの融合を是非味わってと誘導する。

鴨料理、のっぺいうどん、郷土料理焼き鯖

そうめんのPR。盆梅展を塩梅ガイドしましょう。



令和 2 年の盆梅展。上円内は「不老」。

VG活動への期待と提言



北沢繁和

二〇二一年は、ウイズ・コロナのもと、平時の生活、経済を取り戻していくことと考えます。徐々に人々の活動が再開され、長浜にも観光客が戻ってきて、また、延期された東京オリ、パラが開催されることを期待します。長浜観光ボランティアガイド協会も重要な役割を担っていくこととなります。

多くの長浜ファンづくりを！歴史に培われた長浜

第70回を迎える長浜盆梅展の開催（1月9日）から3月10日）

定着した黒壁を中心とした観光と黒壁ガラス館の改修時の対応

長浜曳山祭の再開

四百年前の姿に大改修された竹生島宝厳寺

（唐門、観音堂など）

日本遺産に認定された鉄道の町（旧長浜駅舎と旧北陸線）など

自然豊かな長浜

日本で最初の観光船・琵琶湖汽船で巡る竹生島と奥びわ湖

ウイリスにも負けない湖北の健康食・発酵食文化と郷土食

先人の偉功

大河ドラマ等に放映された戦国武将と長浜

（次ページ下段につづく）



後鳥羽上皇伝説の
名超寺
磯田 智

名越町にある歴史的に有名なお寺「名超寺」と神社「後鳥羽神社」を紹介したい。

名超寺は、天台宗の古刹で恵光山常喜院と号する。伊吹山寺の開祖三修沙門の高弟名超童子が藤原時代の初期に創立したと伝えられる。全盛期には七堂伽藍と四十九院九十九坊の寺観をそなえ、天台密教の道場として栄え壮観であった。しばしば兵火にあったがそのたび再建されたが、今は四十九院のうち平等院と観成院とが残るのみである。治承四年（一一八〇）山本義経が平家に対し兵を起したとき、戦火により焼失。文治五年（一一八九）再建、そのころ延暦寺宝幢院の阿闍梨禪行が名超寺に移り、建久十年（一一九九）には後鳥羽上皇が倒幕の画策のため（承久の乱）、この寺に潜幸し、本坊に滞在したという伝説がある。この時上皇の木造を残したとされ、



名超寺本坊跡の池泉式庭園反橋前の磯田さん。

これが基で後鳥羽殿が建てられた。元龜争乱で信長軍に焼払われたが、秀吉が長浜城主の頃、諸堂、後鳥羽殿が再建された。今ある観成院はその境内に延命子安地蔵が祀られ、古くから安産の地蔵として信仰されている。また境内の池泉式庭園は江戸前期の作庭とされ、小堀遠州の作ともいわれている。平等院には、長浜市の指定保存樹木となっている樹齢三百五十年余りのカヤの大きな木がある。

観成院、平等院にはそれぞれ池泉鑑賞式庭園が造られており、荒廃しているとはいえず、力強い石組み、築山が築かれ、そこから枯滝石組、池中には岩島を意匠している。池泉西部に石橋と立石があり、石橋は切石の反橋となっている。

後鳥羽神社は先の後鳥羽殿が基で明治天皇の近江巡幸の際、神殿と成し、明治十三年正遷宮を行い、後鳥羽神社と称し勅額が与えられている。

この場所は、春は桜、ツツジ、秋も紅葉の素晴らしい場所、手軽なハイキングの場所としてもお勧めである。

城、小谷城跡など
これからの V G 協会への提言
（前ページ下段より）

モデルコースの作成と発信

J R ハイキング、待受けガイド等の実績をもとに、協会が推薦するモデルコースを作成し、ホームページ等により旅行社やグループ客等へ発信して、積極的な誘客とガイドの取組みも必要と考えます。

広域長浜での観光 V G 協会のあり方

広域となった長浜市には、現在二つの観光ボランティア・ガイド団体があります。協会員の高齢化と会員数の減少、財政基盤の強化などの課題に対応してそのあり方が問われています。当面は、ガイド事業の連携と研修事業の共同化を進めることとし、あるべき姿について検討していく必要があると考えます。

▼お知らせ 1月の一般・待受け・曳山博物館ガイドはすべて中止となりました。2月以降の活動については、1月末にお知らせします。また今年の盆梅展ガイドはありません。

▼慶雲館清掃 1月7日（木）午前9時より
▼英会話研修 2月18日（木）午後1時半より

長浜観光ボランティアガイド協会会報

「鯼の湖」第一四九号

令和三年一月一日発行

発行人・馬場智章／編集人・山崎喜世雄

発行所・NPO法人長浜観光ボランティアガイド協会

長浜市元浜町14・12 四居家内